

令和8年度新規地区採択チェックリスト

(8-5) 農業競争力強化基盤整備事業(農地中間管理機構関連農地整備事業)

(都道府県名:新潟県)(地区名:清里第2)

1. 必須事項

項目	評価の内容	判定
1. 事業の必要性が明確であること。(必要性)	・農業生産性の向上、農業総生産の維持・増大、農業生産の選択的拡大、農業構造の改善、営農環境の改善等の観点から、当該事業を必要とすること。	<input type="checkbox"/>
2. 技術的可能性が確実であること。	・地形、地質、水利状況等からみて、当該事業の施行が技術的に可能であること。	<input type="checkbox"/>
3. 事業の効率性が十分見込まれること。(効率性)	・当該事業の効用の発現が十分に見込まれ、すべての効用がそのすべての費用を償うこと。	<input type="checkbox"/>
4. 環境との調和に配慮していること。	・当該事業が環境との調和に配慮したものであること。	<input type="checkbox"/>
5. 事業の採択要件を満たしていること。	・事業実施要綱・要領に規定された事業内容、採択基準の要件に適合していること。	<input type="checkbox"/>

項目を満たしている場合は「○」とする。

項目欄の()には、主として考えられる観点を記述している。

令和8年度新規地区採択チェックリスト

(8-5) 農業競争力強化基盤整備事業(農地中間管理機構関連農地整備事業)

(都道府県名:新潟県)(地区名:清里第2)

2. 優先配慮事項

【効率性・有効性】

評価項目			評価指標	単位	評価結果	評価
大項目	中項目	小項目				
効率性	事業の経済性・効率性		①事業費の経済性・効率性の確保 ②コスト縮減についての具体的配慮	—	○ ○	A
有効性	食料安全保障の確保	農業生産性の維持・向上	土地生産性及び労働生産性の維持・向上効果額(受益面積当たり)	千円/ha・年	2,162	A
			スマート農業技術等の導入	—	○	A
			大区画化ほ場の割合	%	76.3	A
			①担い手の米の生産コストの労働費 ②事業実施前と比較した担い手の米の生産コストの労働費	円/60kg 割	764 4	A
		産地収益力の向上	①高収益作物の生産額の増加率	%	皆増	A
			②高収益作物の作付面積の増加率	%	皆増	
	農業の持続的発展	望ましい農業構造の確立	担い手への農地利用集積率	%	100.0	A
			担い手への面的集積率	%	100.0	A
		農地の確保・有効利用	①耕地利用率 ②作付率の増加ポイント	% %	109.9 11.0	A
	農村の振興	地域経済への波及効果	他産業への経済波及効果額(受益面積当たり)	千円/ha・年	1,891	A
農業の高付加価値化		①農業の高付加価値化や6次産業化に向けた取組 ②地域活性化に係る話合い	—	○ ○	A	
多面的機能の発揮	地域の共同活動	多面的機能支払交付金等の取組	—	○	A	
環境と調和のとれた食料システムの確立	みどりの食料システム戦略に係る取組	「みどりの食料システム戦略」に係る取組の検討状況	—	○	A	
	生態系・景観への配慮	①環境情報協議会等の意見を踏まえた生態系及び景観への配慮 ②地域住民の参加や地域住民との合意形成への取組 ③維持管理、費用負担、モニタリング体制等の調整状況	—	a a a	A	

【事業の実施環境等】

評価項目			評価指標	単位	評価結果	評価
大項目	中項目	小項目				
事業の実施環境等	連携管理保全計画（水土里ビジョン）の策定		連携管理保全計画（水土里ビジョン）の策定状況	—	A	A
	関係計画との連携		①都道府県や市町村が策定する農業振興計画や農業振興地域整備計画等と本事業との整合性 ②高生産性優良農業地域対策に基づく広域農業農村整備促進計画との整合性 ③地域計画と本事業との整合性 ④地域における開発計画と本事業との整合性 ⑤関係計画における関連事業等への位置付け	—	a — a a —	A
	関係機関との協議		①河川管理者との協議(予備)の状況 ②その他着工前に重要な協議(予備)の状況	—	a a	A
	地元合意		①事業実施に対する関係市町村の同意状況 ②事業推進協議会から着工要望の提出 ③維持管理方法と費用負担に関する予定管理者との合意 ④事業に伴う土地利用規制の周知状況	—	a a a a	A
	営農推進体制・環境		①営農部局との連携 ②営農推進組織等(営農支援体制)の設立状況 ③農産物の流通・販売基盤の整備状況 ④需要に応じた生産の取組状況 ⑤フラッグシップ輸出産地又は輸出事業計画（GFPグローバル産地計画）の対象となる作物の営農計画への位置付け状況	—	a a a a —	A
	緊急性		①国営事業等関連する他の公共事業との関係で緊急性が高い ②老朽化等による施設機能低下や農業被害の発生状況、地域の農家の減少、荒廃農地の増加状況から、施設整備の緊急性が高い	—	— ○	B
	ストック効果の最大化		ストック効果の最大化に向けた事業の効率性・有効性等の確保	%	94.4	A

清里第2地区の事業の効用に関する説明資料

1 総費用総便益比の算定

(1) 総費用総便益比の総括

(単位：千円)

区 分	算 定 式	数 値
総費用（現在価値化）	①=②+③	2,968,721
当該事業による費用	②	2,403,275
関連事業による費用、資産価額、再整備費	③	565,446
評価期間（当該事業の工事期間+40年）	④	49年
社会的割引率		4%
総便益額（現在価値化）	⑤	3,361,681
総費用総便益比	⑥=⑤÷①	1.13

(2) 総費用の総括

(単位：千円)

区 分	施 設 名 (又は工種)	資産価額 (事業着工 時点) ①	当該事業に よる費用 ②	関連事業 による費 用 ③	再整備費 ④	資産価額 (評価期間 終了時点) ⑤	総費用 ⑥= ①+②+③ +④-⑤
当 該 事 業	区画整理	-	2,403,275	-	356,049	206,400	2,552,924
	計	-	2,403,275	-	356,049	206,400	2,552,924
そ の 他	ダム(水管理システム含む)	259,276	-	-	16,810	8,632	267,454
	用水路	885	-	-	160,676	27,833	133,728
	その他施設	0	-	-	17,659	3,044	14,615
	計	260,161	-	-	195,145	39,509	415,797
合 計		260,161	2,403,275	-	551,194	245,909	2,968,721

(3) 年総効果額の総括

(単位：千円)

効果項目	区分	年 総 効 果 (便 益) 額	効果の要因
食料の安定供給の確保に関する効果			
作物生産効果		59,221	区画整理を実施した場合と実施しなかった場合での作物生産量が増減する効果
営農経費節減効果		116,227	区画整理を実施した場合と実施しなかった場合での営農経費が増減する効果
維持管理費節減効果		△ 2,459	区画整理を実施した場合と実施しなかった場合での施設の維持管理費が増減する効果
農業の持続的発展に関する効果			
農業労働環境改善効果		2,516	区画整理を実施したことにより、営農に係る労働が質的（労働強度の改善、精神的疲労の改善）に改善される効果
多面的機能の発揮に関する効果			
景観・環境保全効果		416	区画整理にあたり、周辺の景観や環境へ配慮した設計・構造を合わせもった施設として整備されることで発揮される効果
その他の効果			
国産農産物安定供給効果		10,342	区画整理の実施により農業生産性の向上や営農条件等の改善が図られ、国産農産物の安定供給に寄与する効果
合 計		186,263	

(4) 総便益額算出表-1

評価期間	年度	割引率 (1+割引率) ^t ①	経過年 (t)	作物生産効果						備考
				更新分に 係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果			計		
					年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	同左 割引後 (千円) ⑦=⑥÷①	
				1	R8	1.0400	1	53,019	6,202	
2	R9	1.0816	2	53,019	6,202	8.6	533	53,552	49,512	
3	R10	1.1249	3	53,019	6,202	14.8	918	53,937	47,948	
4	R11	1.1699	4	53,019	6,202	26.4	1,637	54,656	46,719	
5	R12	1.2167	5	53,019	6,202	36.5	2,264	55,283	45,437	
6	R13	1.2653	6	53,019	6,202	46.6	2,890	55,909	44,186	
7	R14	1.3159	7	53,019	6,202	59.6	3,696	56,715	43,100	
8	R15	1.3686	8	53,019	6,202	72.5	4,496	57,515	42,025	
9	R16	1.4233	9	53,019	6,202	85.3	5,290	58,309	40,967	
10	R17	1.4802	10	53,019	6,202	100.0	6,202	59,221	40,009	
11	R18	1.5395	11	53,019	6,202	100.0	6,202	59,221	38,468	
12	R19	1.6010	12	53,019	6,202	100.0	6,202	59,221	36,990	
13	R20	1.6651	13	53,019	6,202	100.0	6,202	59,221	35,566	
14	R21	1.7317	14	53,019	6,202	100.0	6,202	59,221	34,198	
15	R22	1.8009	15	53,019	6,202	100.0	6,202	59,221	32,884	
16	R23	1.8730	16	53,019	6,202	100.0	6,202	59,221	31,618	
17	R24	1.9479	17	53,019	6,202	100.0	6,202	59,221	30,402	
18	R25	2.0258	18	53,019	6,202	100.0	6,202	59,221	29,233	
19	R26	2.1068	19	53,019	6,202	100.0	6,202	59,221	28,109	
20	R27	2.1911	20	53,019	6,202	100.0	6,202	59,221	27,028	
21	R28	2.2788	21	53,019	6,202	100.0	6,202	59,221	25,988	
22	R29	2.3699	22	53,019	6,202	100.0	6,202	59,221	24,989	
23	R30	2.4647	23	53,019	6,202	100.0	6,202	59,221	24,028	
24	R31	2.5633	24	53,019	6,202	100.0	6,202	59,221	23,103	
25	R32	2.6658	25	53,019	6,202	100.0	6,202	59,221	22,215	
26	R33	2.7725	26	53,019	6,202	100.0	6,202	59,221	21,360	
27	R34	2.8834	27	53,019	6,202	100.0	6,202	59,221	20,539	
28	R35	2.9987	28	53,019	6,202	100.0	6,202	59,221	19,749	
29	R36	3.1187	29	53,019	6,202	100.0	6,202	59,221	18,989	
30	R37	3.2434	30	53,019	6,202	100.0	6,202	59,221	18,259	
31	R38	3.3731	31	53,019	6,202	100.0	6,202	59,221	17,557	
32	R39	3.5081	32	53,019	6,202	100.0	6,202	59,221	16,881	
33	R40	3.6484	33	53,019	6,202	100.0	6,202	59,221	16,232	
34	R41	3.7943	34	53,019	6,202	100.0	6,202	59,221	15,608	
35	R42	3.9461	35	53,019	6,202	100.0	6,202	59,221	15,007	
36	R43	4.1039	36	53,019	6,202	100.0	6,202	59,221	14,430	
37	R44	4.2681	37	53,019	6,202	100.0	6,202	59,221	13,875	
38	R45	4.4388	38	53,019	6,202	100.0	6,202	59,221	13,342	
39	R46	4.6164	39	53,019	6,202	100.0	6,202	59,221	12,828	
40	R47	4.8010	40	53,019	6,202	100.0	6,202	59,221	12,335	
41	R48	4.9931	41	53,019	6,202	100.0	6,202	59,221	11,861	
42	R49	5.1928	42	53,019	6,202	100.0	6,202	59,221	11,404	
43	R50	5.4005	43	53,019	6,202	100.0	6,202	59,221	10,966	
44	R51	5.6165	44	53,019	6,202	100.0	6,202	59,221	10,544	
45	R52	5.8412	45	53,019	6,202	100.0	6,202	59,221	10,138	
46	R53	6.0748	46	53,019	6,202	100.0	6,202	59,221	9,749	
47	R54	6.3178	47	53,019	6,202	100.0	6,202	59,221	9,374	
48	R55	6.5705	48	53,019	6,202	100.0	6,202	59,221	9,013	
49	R56	6.8333	49	53,019	6,202	100.0	6,202	59,221	8,667	
合計(総便益額)									1,234,409	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

(4) 総便益額算出表-2

評価期間	年度	割引率 (1+割引率) [†] ①	経過年 (t)	営農経費節減効果						備考
				更新分に 係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果			計		
					年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	同左 割引後 (千円) ⑦=⑥÷①	
1	R8	1.0400	1	△ 4,716	120,943	0.0	0	△ 4,716	△ 4,535	
2	R9	1.0816	2	△ 4,716	120,943	8.6	10,401	5,685	5,256	
3	R10	1.1249	3	△ 4,716	120,943	14.8	17,900	13,184	11,720	
4	R11	1.1699	4	△ 4,716	120,943	26.4	31,929	27,213	23,261	
5	R12	1.2167	5	△ 4,716	120,943	36.5	44,144	39,428	32,406	
6	R13	1.2653	6	△ 4,716	120,943	46.6	56,359	51,643	40,815	
7	R14	1.3159	7	△ 4,716	120,943	59.6	72,082	67,366	51,194	
8	R15	1.3686	8	△ 4,716	120,943	72.5	87,684	82,968	60,623	
9	R16	1.4233	9	△ 4,716	120,943	85.3	103,164	98,448	69,169	
10	R17	1.4802	10	△ 4,716	120,943	100.0	120,943	116,227	78,521	
11	R18	1.5395	11	△ 4,716	120,943	100.0	120,943	116,227	75,497	
12	R19	1.6010	12	△ 4,716	120,943	100.0	120,943	116,227	72,597	
13	R20	1.6651	13	△ 4,716	120,943	100.0	120,943	116,227	69,802	
14	R21	1.7317	14	△ 4,716	120,943	100.0	120,943	116,227	67,117	
15	R22	1.8009	15	△ 4,716	120,943	100.0	120,943	116,227	64,538	
16	R23	1.8730	16	△ 4,716	120,943	100.0	120,943	116,227	62,054	
17	R24	1.9479	17	△ 4,716	120,943	100.0	120,943	116,227	59,668	
18	R25	2.0258	18	△ 4,716	120,943	100.0	120,943	116,227	57,373	
19	R26	2.1068	19	△ 4,716	120,943	100.0	120,943	116,227	55,168	
20	R27	2.1911	20	△ 4,716	120,943	100.0	120,943	116,227	53,045	
21	R28	2.2788	21	△ 4,716	120,943	100.0	120,943	116,227	51,004	
22	R29	2.3699	22	△ 4,716	120,943	100.0	120,943	116,227	49,043	
23	R30	2.4647	23	△ 4,716	120,943	100.0	120,943	116,227	47,157	
24	R31	2.5633	24	△ 4,716	120,943	100.0	120,943	116,227	45,343	
25	R32	2.6658	25	△ 4,716	120,943	100.0	120,943	116,227	43,599	
26	R33	2.7725	26	△ 4,716	120,943	100.0	120,943	116,227	41,921	
27	R34	2.8834	27	△ 4,716	120,943	100.0	120,943	116,227	40,309	
28	R35	2.9987	28	△ 4,716	120,943	100.0	120,943	116,227	38,759	
29	R36	3.1187	29	△ 4,716	120,943	100.0	120,943	116,227	37,268	
30	R37	3.2434	30	△ 4,716	120,943	100.0	120,943	116,227	35,835	
31	R38	3.3731	31	△ 4,716	120,943	100.0	120,943	116,227	34,457	
32	R39	3.5081	32	△ 4,716	120,943	100.0	120,943	116,227	33,131	
33	R40	3.6484	33	△ 4,716	120,943	100.0	120,943	116,227	31,857	
34	R41	3.7943	34	△ 4,716	120,943	100.0	120,943	116,227	30,632	
35	R42	3.9461	35	△ 4,716	120,943	100.0	120,943	116,227	29,454	
36	R43	4.1039	36	△ 4,716	120,943	100.0	120,943	116,227	28,321	
37	R44	4.2681	37	△ 4,716	120,943	100.0	120,943	116,227	27,232	
38	R45	4.4388	38	△ 4,716	120,943	100.0	120,943	116,227	26,184	
39	R46	4.6164	39	△ 4,716	120,943	100.0	120,943	116,227	25,177	
40	R47	4.8010	40	△ 4,716	120,943	100.0	120,943	116,227	24,209	
41	R48	4.9931	41	△ 4,716	120,943	100.0	120,943	116,227	23,278	
42	R49	5.1928	42	△ 4,716	120,943	100.0	120,943	116,227	22,382	
43	R50	5.4005	43	△ 4,716	120,943	100.0	120,943	116,227	21,522	
44	R51	5.6165	44	△ 4,716	120,943	100.0	120,943	116,227	20,694	
45	R52	5.8412	45	△ 4,716	120,943	100.0	120,943	116,227	19,898	
46	R53	6.0748	46	△ 4,716	120,943	100.0	120,943	116,227	19,133	
47	R54	6.3178	47	△ 4,716	120,943	100.0	120,943	116,227	18,397	
48	R55	6.5705	48	△ 4,716	120,943	100.0	120,943	116,227	17,689	
49	R56	6.8333	49	△ 4,716	120,943	100.0	120,943	116,227	17,009	
合計 (総便益額)									1,906,183	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

(4) 総便益額算出表-3

評価期間	年度	割引率 (1+割引率) ^t ①	経過年 (t)	維持管理費節減効果						備考
				更新分に 係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果			計		
					年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	同左 割引後 (千円) ⑦=⑥÷①	
1	R8	1.0400	1	△ 1,428	△ 1,031	0.0	0	△ 1,428	△ 1,373	
2	R9	1.0816	2	△ 1,428	△ 1,031	0.0	0	△ 1,428	△ 1,320	
3	R10	1.1249	3	△ 1,428	△ 1,031	0.0	0	△ 1,428	△ 1,269	
4	R11	1.1699	4	△ 1,428	△ 1,031	0.0	0	△ 1,428	△ 1,221	
5	R12	1.2167	5	△ 1,428	△ 1,031	0.0	0	△ 1,428	△ 1,174	
6	R13	1.2653	6	△ 1,428	△ 1,031	0.0	0	△ 1,428	△ 1,129	
7	R14	1.3159	7	△ 1,428	△ 1,031	0.0	0	△ 1,428	△ 1,085	
8	R15	1.3686	8	△ 1,428	△ 1,031	0.0	0	△ 1,428	△ 1,043	
9	R16	1.4233	9	△ 1,428	△ 1,031	0.0	0	△ 1,428	△ 1,003	
10	R17	1.4802	10	△ 1,428	△ 1,031	100.0	△ 1,031	△ 2,459	△ 1,661	
11	R18	1.5395	11	△ 1,428	△ 1,031	100.0	△ 1,031	△ 2,459	△ 1,597	
12	R19	1.6010	12	△ 1,428	△ 1,031	100.0	△ 1,031	△ 2,459	△ 1,536	
13	R20	1.6651	13	△ 1,428	△ 1,031	100.0	△ 1,031	△ 2,459	△ 1,477	
14	R21	1.7317	14	△ 1,428	△ 1,031	100.0	△ 1,031	△ 2,459	△ 1,420	
15	R22	1.8009	15	△ 1,428	△ 1,031	100.0	△ 1,031	△ 2,459	△ 1,365	
16	R23	1.8730	16	△ 1,428	△ 1,031	100.0	△ 1,031	△ 2,459	△ 1,313	
17	R24	1.9479	17	△ 1,428	△ 1,031	100.0	△ 1,031	△ 2,459	△ 1,262	
18	R25	2.0258	18	△ 1,428	△ 1,031	100.0	△ 1,031	△ 2,459	△ 1,214	
19	R26	2.1068	19	△ 1,428	△ 1,031	100.0	△ 1,031	△ 2,459	△ 1,167	
20	R27	2.1911	20	△ 1,428	△ 1,031	100.0	△ 1,031	△ 2,459	△ 1,122	
21	R28	2.2788	21	△ 1,428	△ 1,031	100.0	△ 1,031	△ 2,459	△ 1,079	
22	R29	2.3699	22	△ 1,428	△ 1,031	100.0	△ 1,031	△ 2,459	△ 1,038	
23	R30	2.4647	23	△ 1,428	△ 1,031	100.0	△ 1,031	△ 2,459	△ 998	
24	R31	2.5633	24	△ 1,428	△ 1,031	100.0	△ 1,031	△ 2,459	△ 959	
25	R32	2.6658	25	△ 1,428	△ 1,031	100.0	△ 1,031	△ 2,459	△ 922	
26	R33	2.7725	26	△ 1,428	△ 1,031	100.0	△ 1,031	△ 2,459	△ 887	
27	R34	2.8834	27	△ 1,428	△ 1,031	100.0	△ 1,031	△ 2,459	△ 853	
28	R35	2.9987	28	△ 1,428	△ 1,031	100.0	△ 1,031	△ 2,459	△ 820	
29	R36	3.1187	29	△ 1,428	△ 1,031	100.0	△ 1,031	△ 2,459	△ 788	
30	R37	3.2434	30	△ 1,428	△ 1,031	100.0	△ 1,031	△ 2,459	△ 758	
31	R38	3.3731	31	△ 1,428	△ 1,031	100.0	△ 1,031	△ 2,459	△ 729	
32	R39	3.5081	32	△ 1,428	△ 1,031	100.0	△ 1,031	△ 2,459	△ 701	
33	R40	3.6484	33	△ 1,428	△ 1,031	100.0	△ 1,031	△ 2,459	△ 674	
34	R41	3.7943	34	△ 1,428	△ 1,031	100.0	△ 1,031	△ 2,459	△ 648	
35	R42	3.9461	35	△ 1,428	△ 1,031	100.0	△ 1,031	△ 2,459	△ 623	
36	R43	4.1039	36	△ 1,428	△ 1,031	100.0	△ 1,031	△ 2,459	△ 599	
37	R44	4.2681	37	△ 1,428	△ 1,031	100.0	△ 1,031	△ 2,459	△ 576	
38	R45	4.4388	38	△ 1,428	△ 1,031	100.0	△ 1,031	△ 2,459	△ 554	
39	R46	4.6164	39	△ 1,428	△ 1,031	100.0	△ 1,031	△ 2,459	△ 533	
40	R47	4.8010	40	△ 1,428	△ 1,031	100.0	△ 1,031	△ 2,459	△ 512	
41	R48	4.9931	41	△ 1,428	△ 1,031	100.0	△ 1,031	△ 2,459	△ 492	
42	R49	5.1928	42	△ 1,428	△ 1,031	100.0	△ 1,031	△ 2,459	△ 474	
43	R50	5.4005	43	△ 1,428	△ 1,031	100.0	△ 1,031	△ 2,459	△ 455	
44	R51	5.6165	44	△ 1,428	△ 1,031	100.0	△ 1,031	△ 2,459	△ 438	
45	R52	5.8412	45	△ 1,428	△ 1,031	100.0	△ 1,031	△ 2,459	△ 421	
46	R53	6.0748	46	△ 1,428	△ 1,031	100.0	△ 1,031	△ 2,459	△ 405	
47	R54	6.3178	47	△ 1,428	△ 1,031	100.0	△ 1,031	△ 2,459	△ 389	
48	R55	6.5705	48	△ 1,428	△ 1,031	100.0	△ 1,031	△ 2,459	△ 374	
49	R56	6.8333	49	△ 1,428	△ 1,031	100.0	△ 1,031	△ 2,459	△ 360	
合計 (総便益額)									△ 44,810	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

(4) 総便益額算出表-4

評価期間	年度	割引率 (1+割引率) ^t ①	経過年 (t)	農業労働環境改善効果						備考
				更新分に 係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果			計		
					年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	同左 割引後 (千円) ⑦=⑥÷①	
1	R8	1.0400	1	—	2,516	0.0	0	0	0	
2	R9	1.0816	2	—	2,516	8.6	216	216	200	
3	R10	1.1249	3	—	2,516	14.8	372	372	331	
4	R11	1.1699	4	—	2,516	26.4	664	664	568	
5	R12	1.2167	5	—	2,516	36.5	918	918	754	
6	R13	1.2653	6	—	2,516	46.6	1,172	1,172	926	
7	R14	1.3159	7	—	2,516	59.6	1,500	1,500	1,140	
8	R15	1.3686	8	—	2,516	72.5	1,824	1,824	1,333	
9	R16	1.4233	9	—	2,516	85.3	2,146	2,146	1,508	
10	R17	1.4802	10	—	2,516	100.0	2,516	2,516	1,700	
11	R18	1.5395	11	—	2,516	100.0	2,516	2,516	1,634	
12	R19	1.6010	12	—	2,516	100.0	2,516	2,516	1,572	
13	R20	1.6651	13	—	2,516	100.0	2,516	2,516	1,511	
14	R21	1.7317	14	—	2,516	100.0	2,516	2,516	1,453	
15	R22	1.8009	15	—	2,516	100.0	2,516	2,516	1,397	
16	R23	1.8730	16	—	2,516	100.0	2,516	2,516	1,343	
17	R24	1.9479	17	—	2,516	100.0	2,516	2,516	1,292	
18	R25	2.0258	18	—	2,516	100.0	2,516	2,516	1,242	
19	R26	2.1068	19	—	2,516	100.0	2,516	2,516	1,194	
20	R27	2.1911	20	—	2,516	100.0	2,516	2,516	1,148	
21	R28	2.2788	21	—	2,516	100.0	2,516	2,516	1,104	
22	R29	2.3699	22	—	2,516	100.0	2,516	2,516	1,062	
23	R30	2.4647	23	—	2,516	100.0	2,516	2,516	1,021	
24	R31	2.5633	24	—	2,516	100.0	2,516	2,516	982	
25	R32	2.6658	25	—	2,516	100.0	2,516	2,516	944	
26	R33	2.7725	26	—	2,516	100.0	2,516	2,516	907	
27	R34	2.8834	27	—	2,516	100.0	2,516	2,516	873	
28	R35	2.9987	28	—	2,516	100.0	2,516	2,516	839	
29	R36	3.1187	29	—	2,516	100.0	2,516	2,516	807	
30	R37	3.2434	30	—	2,516	100.0	2,516	2,516	776	
31	R38	3.3731	31	—	2,516	100.0	2,516	2,516	746	
32	R39	3.5081	32	—	2,516	100.0	2,516	2,516	717	
33	R40	3.6484	33	—	2,516	100.0	2,516	2,516	690	
34	R41	3.7943	34	—	2,516	100.0	2,516	2,516	663	
35	R42	3.9461	35	—	2,516	100.0	2,516	2,516	638	
36	R43	4.1039	36	—	2,516	100.0	2,516	2,516	613	
37	R44	4.2681	37	—	2,516	100.0	2,516	2,516	589	
38	R45	4.4388	38	—	2,516	100.0	2,516	2,516	567	
39	R46	4.6164	39	—	2,516	100.0	2,516	2,516	545	
40	R47	4.8010	40	—	2,516	100.0	2,516	2,516	524	
41	R48	4.9931	41	—	2,516	100.0	2,516	2,516	504	
42	R49	5.1928	42	—	2,516	100.0	2,516	2,516	485	
43	R50	5.4005	43	—	2,516	100.0	2,516	2,516	466	
44	R51	5.6165	44	—	2,516	100.0	2,516	2,516	448	
45	R52	5.8412	45	—	2,516	100.0	2,516	2,516	431	
46	R53	6.0748	46	—	2,516	100.0	2,516	2,516	414	
47	R54	6.3178	47	—	2,516	100.0	2,516	2,516	398	
48	R55	6.5705	48	—	2,516	100.0	2,516	2,516	383	
49	R56	6.8333	49	—	2,516	100.0	2,516	2,516	368	
合計(総便益額)									41,750	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

(4) 総便益額算出表-5

評価期間	年度	割引率 (1+割引率) ^t ①	経過年 (t)	景観・環境保全効果						備考
				更新分に 係る効果		新設及び機能向上分 に係る効果		計		
				年効果額 (千円) ②	年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	同左 割引後 (千円) ⑦=⑥÷①	
1	R8	1.0400	1	—	416	0.0	0	0	0	
2	R9	1.0816	2	—	416	8.6	36	36	33	
3	R10	1.1249	3	—	416	14.8	62	62	55	
4	R11	1.1699	4	—	416	26.4	110	110	94	
5	R12	1.2167	5	—	416	36.5	152	152	125	
6	R13	1.2653	6	—	416	46.6	194	194	153	
7	R14	1.3159	7	—	416	59.6	248	248	188	
8	R15	1.3686	8	—	416	72.5	302	302	221	
9	R16	1.4233	9	—	416	85.3	355	355	249	
10	R17	1.4802	10	—	416	100.0	416	416	281	
11	R18	1.5395	11	—	416	100.0	416	416	270	
12	R19	1.6010	12	—	416	100.0	416	416	260	
13	R20	1.6651	13	—	416	100.0	416	416	250	
14	R21	1.7317	14	—	416	100.0	416	416	240	
15	R22	1.8009	15	—	416	100.0	416	416	231	
16	R23	1.8730	16	—	416	100.0	416	416	222	
17	R24	1.9479	17	—	416	100.0	416	416	214	
18	R25	2.0258	18	—	416	100.0	416	416	205	
19	R26	2.1068	19	—	416	100.0	416	416	197	
20	R27	2.1911	20	—	416	100.0	416	416	190	
21	R28	2.2788	21	—	416	100.0	416	416	183	
22	R29	2.3699	22	—	416	100.0	416	416	176	
23	R30	2.4647	23	—	416	100.0	416	416	169	
24	R31	2.5633	24	—	416	100.0	416	416	162	
25	R32	2.6658	25	—	416	100.0	416	416	156	
26	R33	2.7725	26	—	416	100.0	416	416	150	
27	R34	2.8834	27	—	416	100.0	416	416	144	
28	R35	2.9987	28	—	416	100.0	416	416	139	
29	R36	3.1187	29	—	416	100.0	416	416	133	
30	R37	3.2434	30	—	416	100.0	416	416	128	
31	R38	3.3731	31	—	416	100.0	416	416	123	
32	R39	3.5081	32	—	416	100.0	416	416	119	
33	R40	3.6484	33	—	416	100.0	416	416	114	
34	R41	3.7943	34	—	416	100.0	416	416	110	
35	R42	3.9461	35	—	416	100.0	416	416	105	
36	R43	4.1039	36	—	416	100.0	416	416	101	
37	R44	4.2681	37	—	416	100.0	416	416	97	
38	R45	4.4388	38	—	416	100.0	416	416	94	
39	R46	4.6164	39	—	416	100.0	416	416	90	
40	R47	4.8010	40	—	416	100.0	416	416	87	
41	R48	4.9931	41	—	416	100.0	416	416	83	
42	R49	5.1928	42	—	416	100.0	416	416	80	
43	R50	5.4005	43	—	416	100.0	416	416	77	
44	R51	5.6165	44	—	416	100.0	416	416	74	
45	R52	5.8412	45	—	416	100.0	416	416	71	
46	R53	6.0748	46	—	416	100.0	416	416	68	
47	R54	6.3178	47	—	416	100.0	416	416	66	
48	R55	6.5705	48	—	416	100.0	416	416	63	
49	R56	6.8333	49	—	416	100.0	416	416	61	
合計 (総便益額)									6,901	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

(4) 総便益額算出表-6

評価期間	年度	割引率 (1+割引率) ^t ①	経過年 (t)	国産農産物安定供給効果						備考
				更新分に 係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果			計		
					年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	同左 割引後 (千円) ⑦=⑥÷①	
1	R8	1.0400	1	9,612	730	0.0	0	9,612	9,242	
2	R9	1.0816	2	9,612	730	8.6	63	9,675	8,945	
3	R10	1.1249	3	9,612	730	14.8	108	9,720	8,641	
4	R11	1.1699	4	9,612	730	26.4	193	9,805	8,381	
5	R12	1.2167	5	9,612	730	36.5	266	9,878	8,119	
6	R13	1.2653	6	9,612	730	46.6	340	9,952	7,865	
7	R14	1.3159	7	9,612	730	59.6	435	10,047	7,635	
8	R15	1.3686	8	9,612	730	72.5	529	10,141	7,410	
9	R16	1.4233	9	9,612	730	85.3	623	10,235	7,191	
10	R17	1.4802	10	9,612	730	100.0	730	10,342	6,987	
11	R18	1.5395	11	9,612	730	100.0	730	10,342	6,718	
12	R19	1.6010	12	9,612	730	100.0	730	10,342	6,460	
13	R20	1.6651	13	9,612	730	100.0	730	10,342	6,211	
14	R21	1.7317	14	9,612	730	100.0	730	10,342	5,972	
15	R22	1.8009	15	9,612	730	100.0	730	10,342	5,743	
16	R23	1.8730	16	9,612	730	100.0	730	10,342	5,522	
17	R24	1.9479	17	9,612	730	100.0	730	10,342	5,309	
18	R25	2.0258	18	9,612	730	100.0	730	10,342	5,105	
19	R26	2.1068	19	9,612	730	100.0	730	10,342	4,909	
20	R27	2.1911	20	9,612	730	100.0	730	10,342	4,720	
21	R28	2.2788	21	9,612	730	100.0	730	10,342	4,538	
22	R29	2.3699	22	9,612	730	100.0	730	10,342	4,364	
23	R30	2.4647	23	9,612	730	100.0	730	10,342	4,196	
24	R31	2.5633	24	9,612	730	100.0	730	10,342	4,035	
25	R32	2.6658	25	9,612	730	100.0	730	10,342	3,880	
26	R33	2.7725	26	9,612	730	100.0	730	10,342	3,730	
27	R34	2.8834	27	9,612	730	100.0	730	10,342	3,587	
28	R35	2.9987	28	9,612	730	100.0	730	10,342	3,449	
29	R36	3.1187	29	9,612	730	100.0	730	10,342	3,316	
30	R37	3.2434	30	9,612	730	100.0	730	10,342	3,189	
31	R38	3.3731	31	9,612	730	100.0	730	10,342	3,066	
32	R39	3.5081	32	9,612	730	100.0	730	10,342	2,948	
33	R40	3.6484	33	9,612	730	100.0	730	10,342	2,835	
34	R41	3.7943	34	9,612	730	100.0	730	10,342	2,726	
35	R42	3.9461	35	9,612	730	100.0	730	10,342	2,621	
36	R43	4.1039	36	9,612	730	100.0	730	10,342	2,520	
37	R44	4.2681	37	9,612	730	100.0	730	10,342	2,423	
38	R45	4.4388	38	9,612	730	100.0	730	10,342	2,330	
39	R46	4.6164	39	9,612	730	100.0	730	10,342	2,240	
40	R47	4.8010	40	9,612	730	100.0	730	10,342	2,154	
41	R48	4.9931	41	9,612	730	100.0	730	10,342	2,071	
42	R49	5.1928	42	9,612	730	100.0	730	10,342	1,992	
43	R50	5.4005	43	9,612	730	100.0	730	10,342	1,915	
44	R51	5.6165	44	9,612	730	100.0	730	10,342	1,841	
45	R52	5.8412	45	9,612	730	100.0	730	10,342	1,771	
46	R53	6.0748	46	9,612	730	100.0	730	10,342	1,702	
47	R54	6.3178	47	9,612	730	100.0	730	10,342	1,637	
48	R55	6.5705	48	9,612	730	100.0	730	10,342	1,574	
49	R56	6.8333	49	9,612	730	100.0	730	10,342	1,513	
合計(総便益額)									217,248	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

2 年効果額の算定方法

(1) 作物生産効果

○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と実施しなかった場合（事業なかりせば）の作物生産量の比較により年効果額を算定した。

○対象作物

水稲、飼料用米、酒造好適米、えだまめ、ブロッコリー、キャベツ

○年効果額算定式

年効果額＝単収増加年効果額^{※1}＋作付増減年効果額^{※2}

※1 単収増加年効果額＝作付面積×（事業ありせば単収－事業なかりせば単収）×単価×単収増加の純益率

※2 作付増減年効果額＝（事業ありせば作付面積－事業なかりせば作付面積）×単収×単価×作付増減の純益率

○年効果額の算定

作物名	新設・更新	作付面積			効果要因	単 収			生産増減量 ③＝ ①×②÷100	生産物単価 ④	増加粗収益額 ⑤＝③×④	純益率 ⑥	年効果額 ⑦＝⑤×⑥
		現況	計画	効果発生面積 ①		事業なかりせば単収	事業ありせば単収	効果対象単収 ②					
水稲	新設	ha	ha	ha	単収増(乾田化)	kg/10a	kg/10a	kg/10a	t	千円/t	千円	%	千円
		73.1	68.8	68.8	小計	-	-	-	11.0	-	-	-	-
				△4.3	作付減	-	-	524	△22.5	-	-	-	-
	更新	73.1	73.1	73.1	単収増(水管理改良)	220	524	304	222.2	-	-	-	-
					小計	-	-	-	222.2	266	59,105	89	52,603
					水稲計	-	-	-	210.7	-	56,046	-	55,207
飼料用米	新設	4.7	-	△4.7	作付減	-	-	524	△24.6	-	-	-	-
					小計	-	-	-	△24.6	11	△271	-	-
	更新	4.7	4.7	4.7	単収増(水管理改良)	220	524	304	14.3	-	-	-	-
					小計	-	-	-	14.3	11	157	28	44
酒造好適米	新設	0.5	-	△0.5	作付減	-	-	524	△2.6	-	-	-	-
					小計	-	-	-	△2.6	288	△749	-	-
	更新	0.5	0.5	0.5	単収増(水管理改良)	220	524	304	1.5	-	-	-	-
					小計	-	-	-	1.5	288	432	86	372
			酒造好適米計	-	-	-	△1.1	-	△317	-	372		
えだまめ	新設	-	7.7	7.7	作付増	-	-	239	18.4	-	-	-	-
					小計	-	-	-	18.4	600	11,040	17	1,877
				えだまめ計	-	-	-	18.4	-	11,040	-	1,877	

作物名	新設・更新	作付面積		効果要因	単 収			生産増減量 ③= ①×②÷100	生産物単価 ④	増加粗収益額 ⑤=③×④	純益率 ⑥	年効果額 ⑦=⑤×⑥	
		現況	計画		効果発生面積 ①	事業なかりせば単収	事業ありせば単収						効果算定対象単収 ②
ブロッコリー	新設	-	3.8	3.8	作付増	-	-	805	30.6	-	-	-	
					小 計	-	-	-	30.6	196	5,998	16	960
					ブロッコリー計	-	-	-	30.6	-	5,998	-	960
キャベツ	新設	-	3.8	3.8	作付増	-	-	1,625	61.8	-	-	-	
					小 計	-	-	-	61.8	77	4,759	16	761
					キャベツ計	-	-	-	61.8	-	4,759	-	761
水田計	新設	78.3	84.1							17,718		6,202	
	更新	78.3	78.3							59,694		53,019	
	新設									17,718		6,202	
	更新									59,694		53,019	
	合計									77,412		59,221	

- ・ 作付面積 :各作物の作付面積は以下のとおり
「現況作付面積」 ・ 関係市の作付実績に基づき決定した。
「計画作付面積」 ・ 新設整備では、県、関係市の農業振興計画や関係者の意向を踏まえ決定した。
・ 更新整備では、現況施設のもとで作物生産量が維持される面積であり、現況＝計画とした。
- ・ 単 収 : 増加粗収益額の算定に用いる各作物の単収については、以下のとおり
「事業なかりせば単収」 ・ 新設整備では、現況単収であり、農林水産統計等による最近5か年の平均単収により算定した。
・ 更新整備では、用水機能の喪失時の単収であり、現況単収に効果要因別の失われる増収率分を減じて算定した。
「事業ありせば単収」 ・ 新設整備では、計画単収であり、現況単収に効果要因別の増収率を考慮して算定した。
・ 更新整備では、現況単収であり、農林水産統計等による最近5か年の平均単収により算定した。
「効果算定対象単収」 ・ 事業ありせば単収と事業なかりせば単収の差である。
(作付増においては、地域の計画単収、作付減においては地域の現況単収である。)
- ・ 生産物単価 : JA等の聞き取りによる最近5か年の生産者販売価格に消費者物価指数を反映した価格を用いた。
- ・ 純 益 率 : 「土地改良事業の費用対効果分析必要な諸係数について」による標準値等を用いた。

(2) 営農経費節減効果

○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と事業を実施しなかった場合（事業なかりせば）の労働費、機械経費、その他の生産資材費について比較し、それらの営農経費の増減から年効果額を算定した。

○対象作物

水稻、飼料用米、酒造好適米

○効果算定式

年効果額 = (事業なかりせば単位面積当たり営農経費 - 事業ありせば単位面積当たり営農経費) × 効果発生面積

○年効果額の算定

作物名	ha当たり営農経費				ha当たり 経費節減額 ⑤ = (①-②) + (③-④)	効果発生 面積 ⑥	年効果額 ⑦ = ⑤ × ⑥
	新 設		更 新				
	現況 (事業なかりせば) ①	計画 (事業ありせば) ②	事業なかりせば 営農経費 ③	現況 (事業ありせば) ④			
水稻 (区画整理) 法人→法人(大規模)	円 560,714	円 387,948	円 -	円 -	円 172,766	ha 27.9	千円 4,820
水稻 (区画整理) 個別農家→法人(大規模)	4,136,668	387,948	-	-	3,748,720	20.9	78,348
水稻 (区画整理) 個別担い手→法人(中規模)	999,520	553,838	-	-	445,682	10.8	4,813
水稻 (区画整理) 個別農家→法人(中規模)	4,136,668	553,838	-	-	3,582,830	9.2	32,962
水稻、飼料用米、 酒造好適米 (区画整理) 法人	-	-	530,214	560,714	△30,500	27.9	△851
水稻 (区画整理) 個別担い手	-	-	949,195	999,520	△50,325	10.8	△544
水稻 (区画整理) 個別農家	-	-	4,052,793	4,136,668	△83,875	39.6	△3,321
新 設							120,943
更 新							△4,716
合 計							116,227

・各作物のha当たり営農経費は以下のとおり

- ・現況営農経費 : 地域の営農経費であり、新潟県の生産費調査等の実態調査に基づき算定した。
- ・計画営農経費 : 想定される事業により増減した地域の営農経費であり、新潟県の農業経営指標等を基に、地域の農業関係機関、普及センターの指導方針を反映し算定した。
- ・事業なかりせば営農経費 : 地域の水利施設の機能が失われた場合に想定される水管理作業に係る経費を考慮し算定した。

(3) 維持管理費節減効果

○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と実施しなかった場合（事業なかりせば）を比較し、維持管理費の増減をもって年効果額を算定した。

○対象施設

ダム、用水路、排水路、農道

○効果算定式

年効果額＝事業なかりせば維持管理費－事業ありせば維持管理費

○年効果額の算定

区分	新設	現況維持管理費①	事業ありせば維持管理費②	年効果額 ③＝①－②
	更新	事業なかりせば維持管理費①	現況維持管理費②	
		千円	千円	千円
新設整備		1,634	2,665	△ 1,031
更新整備		206	1,634	△ 1,428
合計				△ 2,459

・事業なかりせば維持管理費

：現況施設の維持管理費を基に、施設の機能を失った場合に想定される安全管理等に最低限必要な維持管理を算定した。

・事業ありせば維持管理費

：現況施設の維持管理費を基に、本事業の実施により見込まれる維持管理費の増減を考慮し算定した。

・現況維持管理費

：現況施設の維持管理費に基づき算定した。

(4) 農業労働環境改善効果

○効果の考え方

事業の実施により、営農に係る労働が質的に改善（労働強度の改善、精神的疲労の軽減等）される効果であり、市場で扱われていない価値であるため、受益者にWTP（Willingness To Pay：支払意思額）を尋ねることで、その価値を直接的に評価する手法であるCVM（Contingent Valuation Method：仮想市場法）により効果を算定した。

○対象作業

水管理作業、機械運転作業

○効果算定式

年効果額 = 労働改善に対する支払意思額 × 受益面積

○年効果額の算定

作業負荷軽減対象作業名	作業負荷軽減対象作業方法			労働改善に関するWTP (円/10a/年)		受益面積 (ha)		年効果額 (千円)	
				更新分	新設及び機能向上	更新分	新設及び機能向上	更新分	新設及び機能向上
	事業なかりせば	現況	計画	①	②	③	④	⑤= ①×③	⑥= ②×④
水管理作業	-	開水路を利用	パイプラインを利用	-	1,597	-	80.0	-	1,278
機械運転作業	-	狭小の農道を利用	拡幅された農道を利用	-	1,548	-	80.0	-	1,238
合計								-	2,516

・労働改善に関するWTP : 受益者に対するアンケート調査結果から得られた、労働改善に対する支払意思額

・受益面積 : 事業地区内における当該効果にかかる受益面積

(5) 景観・環境保全効果

○効果の考え方

景観や自然環境が保全、創設される効果であり、市場で扱われていない価値であるため、地域住民等にWTP (Willingness To Pay : 支払意思額) を尋ねることで、その価値を直接的に評価する手法であるCVM (Contingent Valuation Method : 仮想市場法) により効果を算定した。

○対象施設

環境保全施設

○年効果額算定式

年効果額 = 一戸当たりの支払意思額[※] × 受益範囲世帯数 × {C1 / (C1 + C2)}
ただし、

C1 : 景観・環境保全施設の資本還元額のうち当該土地改良事業分

C2 : 景観・環境保全施設の資本還元額のうちその他事業分

※過去の国営地区における算定結果を基にした計算式によりWTPを推計

○年効果額の算定

区分	土地改良施設名	CVMによる効果額 ①	景観・環境保全施設の資本還元額 ②=③+④	当該土地改良事業の資本還元額 ③	その他の事業の資本還元額 ④	当該土地改良事業における効果額 ⑤=①×(③/②)
		千円	千円	千円	千円	千円
新設整備	排水路	416	41	41	-	416

(6) その他の効果（国産農産物安定供給効果）

○効果の考え方

国産農産物の安定供給に対して国民が感じる安心感の効果であるため、一般国民に対してWTP（Willingness To Pay：支払意思額）を尋ねることで、その価値を直接的に評価する手法であるCVM（Contingent Valuation Method：仮想市場法）により年効果額を算定した。

○対象作物

水稻、飼料用米、酒造好適米、えだまめ、ブロッコリー、キャベツ

○効果算定式

年効果額＝年増加粗収益額 × 単位食料生産額当たり効果額（原単位）
 ＋ 年増加供給熱量 × 単位供給熱量当たり効果額（原単位）

○年効果額の算定

区分	増加粗収益額	増加供給熱量 (千kcal)	単位食料生産額 当たり効果額 (円/千円)	単位供給熱量 当たり効果額 (円/千kcal)	当該土地改良 事業における 年効果額 ⑤＝①×③ ＋②×④
	①	②	③	④	
	千円	千kcal	円/千円	円/千kcal	千円
新設整備	17,718	△ 13,912	49	9.9	730
更新整備	59,694	675,488	49	9.9	9,612
合計	77,412	661,576			10,342

- ・ 増加粗収益額 : 作物生産効果の算定過程で整理した結果を用いて、事業ありせばと事業なかりせばにおける増加粗収益額及び増加供給熱量を整理した。
- ・ 単位食料生産額
当たり効果額 : 一般国民に対し国産農産物の安定供給についてWTPを尋ねるCVMにより、年効果額の算定に用いる単位食料生産額当たり効果額（原単位）は49円/千円、単位供給熱量当たり効果額（原単位）は9.9円/千kcalとした

3 評価に使用した資料

【共通】

- ・ 農林水産省農村振興局整備部（監修）[改訂版]「新たな土地改良の効果算定マニュアル」大成出版社（平成27年9月5日第2版第1刷発行）
- ・ 「土地改良事業の費用対効果分析マニュアルの制定について」（平成19年3月28日付け18農振第1597号農林水産省農村振興局企画部長通知（最終改正：令和7年4月2日））
- ・ 「国産農産物安定供給効果」について（平成27年3月27日付け26農振第2072号農林水産省農村振興局整備部長通知（令和5年4月3日一部改正））
- ・ 土地改良事業の費用対効果分析における参考資料等について（令和4年4月11日付け農林水産省農村振興局整備部関係課関係班連名事務連絡）
- ・ 土地改良事業の費用対効果分析における参考資料等について（令和5年9月13日付け農林水産省農村振興局整備部関係課関係班連名事務連絡）
- ・ 土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数について（平成19年3月28日付け18農振第1598号農林水産省農村振興局企画部長通知（令和7年4月1日一部改正））
- ・ 土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数等について（令和7年4月1日付け農林水産省農村振興局整備部土地改良企画課課長補佐（事業効果班）事務連絡）

【費用】

- ・ 当該事業費に係る一般に公表されていない諸元については、新潟県農地部農地計画課調べ

【便益】

- ・ 北陸農政局統計部（令和元～令和5年）「北陸農林水産統計年報」北陸農政局統計部
- ・ 上記以外の効果算定に必要な各種諸元については、新潟県農地部農地計画課調べ

令和8年度新規地区採択チェックリスト

(8-5) 農業競争力強化基盤整備事業(農地中間管理機構関連農地整備事業)

(都道府県名:新潟県)(地区名:朝日池北部)

1. 必須事項

項目	評価の内容	判定
1. 事業の必要性が明確であること。(必要性)	・農業生産性の向上、農業総生産の維持・増大、農業生産の選択的拡大、農業構造の改善、営農環境の改善等の観点から、当該事業を必要とすること。	<input type="checkbox"/>
2. 技術的可能性が確実であること。	・地形、地質、水利状況等からみて、当該事業の施行が技術的に可能であること。	<input type="checkbox"/>
3. 事業の効率性が十分見込まれること。(効率性)	・当該事業の効用の発現が十分に見込まれ、すべての効用がそのすべての費用を償うこと。	<input type="checkbox"/>
4. 環境との調和に配慮していること。	・当該事業が環境との調和に配慮したものであること。	<input type="checkbox"/>
5. 事業の採択要件を満たしていること。	・事業実施要綱・要領に規定された事業内容、採択基準の要件に適合していること。	<input type="checkbox"/>

項目を満たしている場合は「○」とする。

項目欄の()には、主として考えられる観点を記述している。